

23億5000万円の減！交付税の確保に全力を！

緑風会 秋久憲司



過ぎて、平成27年度から交付税が削減されるが、市への影響は。

答弁↓平成27年度から5年間で23億5000万円が削減される。毎年度、1、3、5、7、9割と削減され、最終的な削減額は一般財源の1割に相当し影響が大である。

質問↓交付税の確保の働きかけは。

答弁↓全国市長会で国や国会議員に働きかけている。私も総務省に行くなど機会ごとに強く要望している。

質問↓自然農法などに取り組み農家の実践交流や組織化はできないか。

答弁↓付加価値の高い売れるコメづくりは重要で、組織づくりは必要である。

防災FMラジオの配布、取り組みは

公明党津山市議員 岡安謙典



120カ所へ、緊急時にラジオが自動的に起動し放送する防災FMラジオの設置を行う予定。今年度は、旧津山市内の自主防犯組織へも配布・設置を行っていく。また、高齢者や障害者を持たれた方等への配布は、災害時要援護者台帳に登録された方々を基本に来年度以降の設置を検討している。FM放送での災害情報は一般のラジオでも受信できるが、防災FMラジオを購入した場合、災害時において緊急放送を委託しているエフエムつやまにおいて、1台9000円程度で10月頃から提供できると聞いている。

質問↓以前より提案していた緊急時の情報伝達手段としての防災FMラジオの配布、取り組み状況は。

答弁↓現在、旧津山市内の避難施設など

小水力発電・市街地の雨水排水対策

津山誠心会議 田口慎一郎



整を含めた有力候補地の抽出を行う予定。数カ所程度は、事業の採算性が見込める候補地があるのではないかと思っている。高専との連携や、市民ファウンドなどを組み込んだ協働の仕組みを構築したい。

質問↓農業用排水路などを含む、市街地の雨水排水対策の現状と計画は。

答弁↓今年度から二宮地区で浸水対策の計画に着手、排水区域面積は33・7ヘクタールの現地調査と測量設計を行い、来年度から順次整備を実施する。また、浸水が多い場所を中心に現地調査、地域住民からの聞き取りを行い、早急に対応できることを検討する。

質問↓自然エネルギー利用としての小水力発電の可能性はどうか。

答弁↓現在小水力のポテンシャル調査に着手したところで、水利権との可否調

地域審議会の今後のあり方・公用車の有効利用は

★市民と歩む会 村田隆男



響があるのか。

答弁↓合併旧町村には新市建設計画の進行の確認や地域の意見を聞く審議会に代わる協議の場が必要であると考え、地方税全体では7億7400万円の減収見込み、削減意識で取り組む。

質問↓公用車の使用状況は。公用車のロゴマークの中に「津山市」の表示は。また「不法投棄監視車」「未成年者飲酒喫煙防止」のマグネットシートは。

答弁↓自動車は25・6台保有している。公用車に「津山市」のロゴ表示のシートを貼ることで啓発活動の一環となり、財政部、教育委員会、各支所と調整し、前向きに実施を検討する。